

IBM IoT Continuous Engineering on Cloud

および

IBM Collaborative Lifecycle Management on Cloud

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、会社、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者をいいます。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別個の「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

1.1 データ・ストレージ

200 人以下のユーザーのサブスクリプションを有するお客様は 25 ギガバイトのデータ容量でプロビジョニングされ、200 人を超えるユーザーのサブスクリプションを有するお客様は 50 ギガバイトのデータ容量でプロビジョニングされます。

1.2 IBM Quality Manager on Cloud

この「クラウド・サービス」は動的なテスト計画、適用されるワークフロー、ラボ効率、テスト範囲分析、手動テスト・オーサリングを提供します。これらのフィーチャーは、その他のライフサイクル成果物 (作業項目および要件など) と、ならびにレポート作成機能およびダッシュボードと統合します。それらは詳細で、高度にカスタマイズされた分析を提供して、プロジェクトの正常性と進捗を監視できるようにします。カスタマイズ可能なレポートは、要件、作業項目、ビルド、テスト・ケース、およびテスト結果を含む、ライフサイクル全体にわたる成果物のリアルタイム・ビューと過去のトレンドの両方を提供します。チームのレポートおよびダッシュボードは、お客様がプロジェクトの健全性に関するタブを維持できるようにします。ダッシュボードは作業項目の照会、イベント・フィード、レポート、および進捗を理解するのに欠かせないその他の項目について概要ビューを提供します。

1.3 IBM Team Concert on Cloud

この「クラウド・サービス」は、以下に記載された変更管理、計画立案、ソフトウェア構成管理、および自動化機能を提供します。

a. 変更管理

「変更管理」の主なフィーチャーは作業項目で、ストーリー、障害、計画項目、および通常タスクを追跡したり、調整したりします。作業項目、およびそれらが従うワークフロー・プロセスはお客様のプロジェクトに合うようにカスタマイズ可能です。

b. 計画立案

「計画立案」機能は、全体的なプロジェクトに対して、これらのプロジェクト内のチームに対して、および個々の開発者に対して、計画立案、追跡、ワークロード・バランスを支援するツールを提供します。計画はチームの誰もが利用可能です。また、あらゆる時点でのリリースおよび反復の進捗を示します。

c. ソフトウェア構成管理

コンポーネント・ベースのソース制御システムは、並行開発、アジャイル開発、および地理的に分散されたチームに対して強力なサポートを提供します。これは障害追跡、ビルド、およびプロセス自動化と密に統合します。

d. 自動化

「自動化」機能は、開発チームとテスト・チームにビルド管理制御を提供します。チーム・メンバーはビルドの進捗を追跡し、ビルド・アラートと結果を表示し、ビルドを要求し、ビルドの関係 (変更セットや作業項目など) を成果物にトレースします。

1.4 IBM DOORS Next Generation on Cloud

この「クラウド・サービス」は、特に関連する開発作業項目およびテスト成果物に関連した、要件を取り込み、整理し、協力してレビュー、分析、およびレポート作成を実行するツールを提供します。

1.5 IBM Engineering Lifecycle Manager on Cloud

この「クラウド・サービス」オファリングは、IBM Collaborative Lifecycle Management on Cloud オファリングに関連して、IBM IoT Continuous Engineering on Cloud バンドル以外でのみ購入でき、またライフサイクルにわたるエンジニアリング成果物間の関係を視覚化する機能を提供してプロジェクトの効率と製品の完全性の向上促進に関する洞察を引き出します。

1.6 IBM IoT Continuous Engineering on Cloud

この「クラウド・サービス」には、IBM DOORS Next Generation on Cloud、IBM Quality Manager on Cloud、IBM Team Concert on Cloud、および IBM Engineering Lifecycle Manager on Cloud のための上記の機能と、以下が含まれます。

- ライフサイクル全体からのエンジニアリング情報へのユニバーサル・アクセス。また、IBM DOORS Next Generation on Cloud にわたる主なエンジニアリング・コンピテンシーを可能にします。
- IBM Rhapsody Design Manager on Cloud。IBM Quality Manager on Cloud、および IBM Team Concert on Cloud のツールは以下を実行します。
 - データの保管先や管理先を問わない、関連性のある情報の検索と発見。
 - エンジニアリング・ライフサイクル全体にわたる完全な可視性を持ったエンジニアリング変更に対する理解と変更。
 - 洞察を予測可能な成果に変えるのに役立つ、視覚化機能および分析機能。
 - 開発での再利用可能な製品、システム、サブシステム、およびコンポーネントに従った、ライフサイクル・エンジニアリングの成果物の編成による再使用。
 - モデルや設計を作成、編集、および共有し、設計の成果物をその他のライフサイクル・リソースと統合するためのツール。
 - モデルおよび設計に関して協力して行うレビュー、分析、ならびにレポート。
- カスタマイズ可能なレポートは、要件、作業項目、ビルド、テスト・ケース、およびテスト結果を含む、ライフサイクル全体にわたる成果物のリアルタイム・ビューと過去のトレンドの両方を提供します。
- チームのレポートおよびダッシュボードは、お客様がプロジェクトを監視できるようにします。
- ダッシュボードは作業項目の照会、イベント・フィード、レポート、および進捗を理解するのに欠かせないその他の項目について概要ビューを提供します。

1.7 IBM Collaborative Lifecycle Management on Cloud

この SaaS オファリングには、IBM DOORS Next Generation on Cloud、IBM Quality Manager on Cloud、および IBM Team Concert on Cloud のための上記の機能が含まれます。

1.8 個人情報

本「クラウド・サービス」は、個人情報またはセンシティブ情報などの規制対象コンテンツに関する特定のセキュリティ要件に即して設計されていません。お客様は、お客様が「クラウド・サービス」に関連して使用するコンテンツのタイプについて、本「クラウド・サービス」がお客様のニーズを満たすものかどうか判断する責任を負います。

2. セキュリティーの内容

本「クラウド・サービス」は、IBM の「クラウド・サービス」に関するデータのセキュリティおよびプライバシー原則 (<https://www.ibm.com/cloud/resourcecenter/content/80> で入手可能) および本項で規定される追加条件に従うものとします。IBM の「Data Security and Privacy Principles for IBM SaaS」が変更される

ことがあっても、それにより「クラウド・サービス」のセキュリティーのレベルが低下することはありません。

3. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」に対する「テクニカル・サポート」が、電話、オンライン・フォーラム、およびオンライン問題報告システムを介して提供されます。IBMは、「テクニカル・サポート」の連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスを規定する IBM Software as a Service Support Handbook を提供します。「テクニカル・サポート」は「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、個別のオファリングとして提供されるものではありません。

重要度	重要度の定義	サポート時間内の 目標応答時間
1	重大な事業影響/サービス・ダウン 事業上の重大な機能が作動不能である、または重要なインターフェースが機能しない状態。これは通常実稼働環境に適用され、サービスにアクセスできないことによって業務に重大な影響が生じることを示します。この状況は、即時に解決する必要があります。	1 時間以内
2	著しい事業影響 サービスのフィーチャーまたは機能が著しく制限されているか、お客様が事業の最終期限に間に合わない危険にさらされている状態。	月曜から金曜の 2 営業時間以内
3	軽度の事業影響 サービスまたは機能を使用することができ、業務に重大な影響が表れていないことを示す。	月曜から金曜の 4 営業時間以内
4	最小の事業影響 問い合わせまたは非技術的な依頼。	月曜から金曜の 1 営業日以内

4. エンタイトルメントおよび課金情報

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- a. 「許可ユーザー」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。お客様は、直接または間接のいかなる手段であっても (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを経由して)、何らかの方法により「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた特定の「許可ユーザー」ごとに、個別に専用のエンタイトルメントを取得しなければならないものとし、お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた「許可ユーザー」の数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとし、
- b. 「ギガバイト」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「ギガバイト」とは、2 の 30 乗バイトのデータとして定義されます (1,073,741,824 バイト)。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」によって処理される「ギガバイト」の総数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとし、

4.2 1 か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された 1 か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

4.3 超過料金

課金期間中の「クラウド・サービス」の実際の利用が、「PoE」に記載されたエンタイトルメントの範囲を超える場合には、お客様は、「取引文書」の記載に従い、その超過分について請求されます。

4.4 従量課金制

お客様は、「クラウド・サービス」 オフアリングに含まれるストレージ割り当てを超える場合、100 GB 単位で請求されます。

5. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるのか、継続使用ベースで続行されるのか、期間満了時に終了するのかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続使用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。